

## 5 鷲子山自然環境保全地域



### 1 地域指定

- (1) 指定地域 鷲子山周辺一帯（美和村）
- (2) 指 定 昭和50年12月23日（茨城県告示第1307号）

### 2 保全計画の概要

#### (1) 地域の指定

本地域は、鷲子山を中心として、スギ、ヒノキなどの植林地に、シラカシなどが入り込み、自然度が高い状態を維持し、学術的にも貴重な地域である。

この地域を植物の自生地、野生動物の生息地として自然環境保全地域に指定し、保全を図る。

#### (2) 保全すべき自然環境の特質

本地域は茨城県の北西部に位置し、栃木県との県境に当たる地域で、海拔402.8メートル、山頂付近には鷲子山神社がある。

周辺にはブナ、イヌブナ、モミなどの温帯林が発達しているが、南側斜面の当地域内にはカシ類が生育している暖帯林が見られ、温帯性植物と暖帯性植物が混生し、種類も多い。

本地域は八溝山地の鷲子山塊に属し、侵食が進んでいて全体になだらかな山容を呈し、岩石の露出している場所は見られない。地層も三畳紀からジュラ紀にまたがる中生代のものである。

## ア 植 生

鷺子山一帯にはシダ植物48種、裸子植物7種、被子植物531種、合計586種の高等植物が生育している。

植生については、社寺林として保護されている地域を除いては二次林であるが、社寺林の南側と北側にはそれぞれ特徴ある森林が見られる。

南側は、スギ、ヒノキ、モミに混生して、シラカシ、ウラジログガシが高木層を形成し、ミヤマシキミ、アオキ、タマアジサイ、ミツバツギなどが低木層をなしている。

林床には、アイアスカイノデ、コミヤマスマレ、イワヒメワラビ、ミドリヒメワラビなどの暖帯性植物が生育している。

北側の斜面や尾根にはイヌブナ、ブナ、イイギリ、イタヤカエデ、ホオノキ、サワシバなどがモミと混生して高木層を形成し、低木層にはアブラツツジ、ゴヨウツツジ、トウゴクミツバツツジなどのツツジ類が優占種になっている。

草本層にはフタバアオイ、イワウチワ、オオヤマハコベ、サワルリソウ、レンゲツツジ、エンレイソウ、ツクバネソウ、ヒカゲスマレなどが生育している。

## イ 野生動物

この地域はエゾゼミの生息地であり、さらに近くの森林にもエゾゼミが生息している。

野鳥類はヤマドリが多産することで知られ、その他アオゲラ、アカゲラなどが生息している。

### (3) 自然環境の保全に関する基本的な事項

保全施設に関する基本方針

巡視歩道、標識、廃棄物処理施設、植生復元施設、病虫害防除施設、給餌施設、養殖施設等を必要に応じて設ける。

### (4) 地区の区域設定に関する計画

普通地区の区域は次のとおりとする。

#### 普通地区

名 称	位 置	区 域	総 面 積	土地所有別面積	摘 要
鷺子山 自然環境 保全地域 普通地区	茨城県 那珂郡 美和村地内	茨城県那珂郡美和村大字鷺子字踊沢の一部	ヘクタール  6.50	ヘクタール  民有地 6.50	ブナ、イヌブナなどの温帯林とスギ、ヒノキの人工林、エゾゼミなど

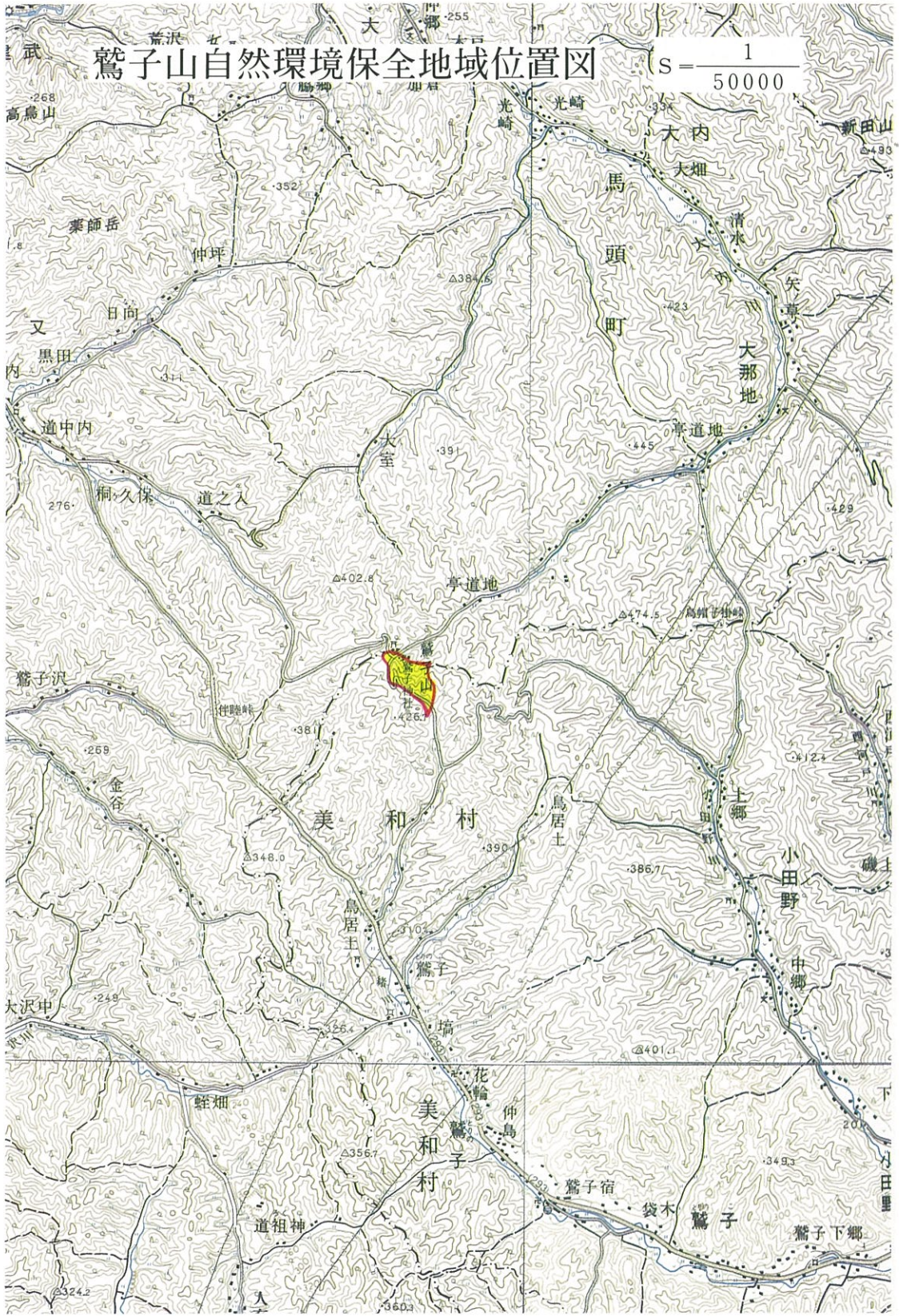
#### 総 括 表

区 分	特 別 地 区									普 通 地 区			合 計		
	野生動植物保護地区			その他の地区			小 計			国 有 地	公 有 地	民 有 地	国 有 地	公 有 地	民 有 地
小 区 分	国 有 地	公 有 地	民 有 地	国 有 地	公 有 地	民 有 地	国 有 地	公 有 地	民 有 地						
所 有 別															
所 有 別 面 積 (ヘクタール)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6.50	0	0	6.50
地 区 別 面 積 (ヘクタール)	0			0			0			6.50			6.50		
地 区 別 (パーセント)	(0)			(0)			(0)			(100)			(100)		

(面積は公簿による。)

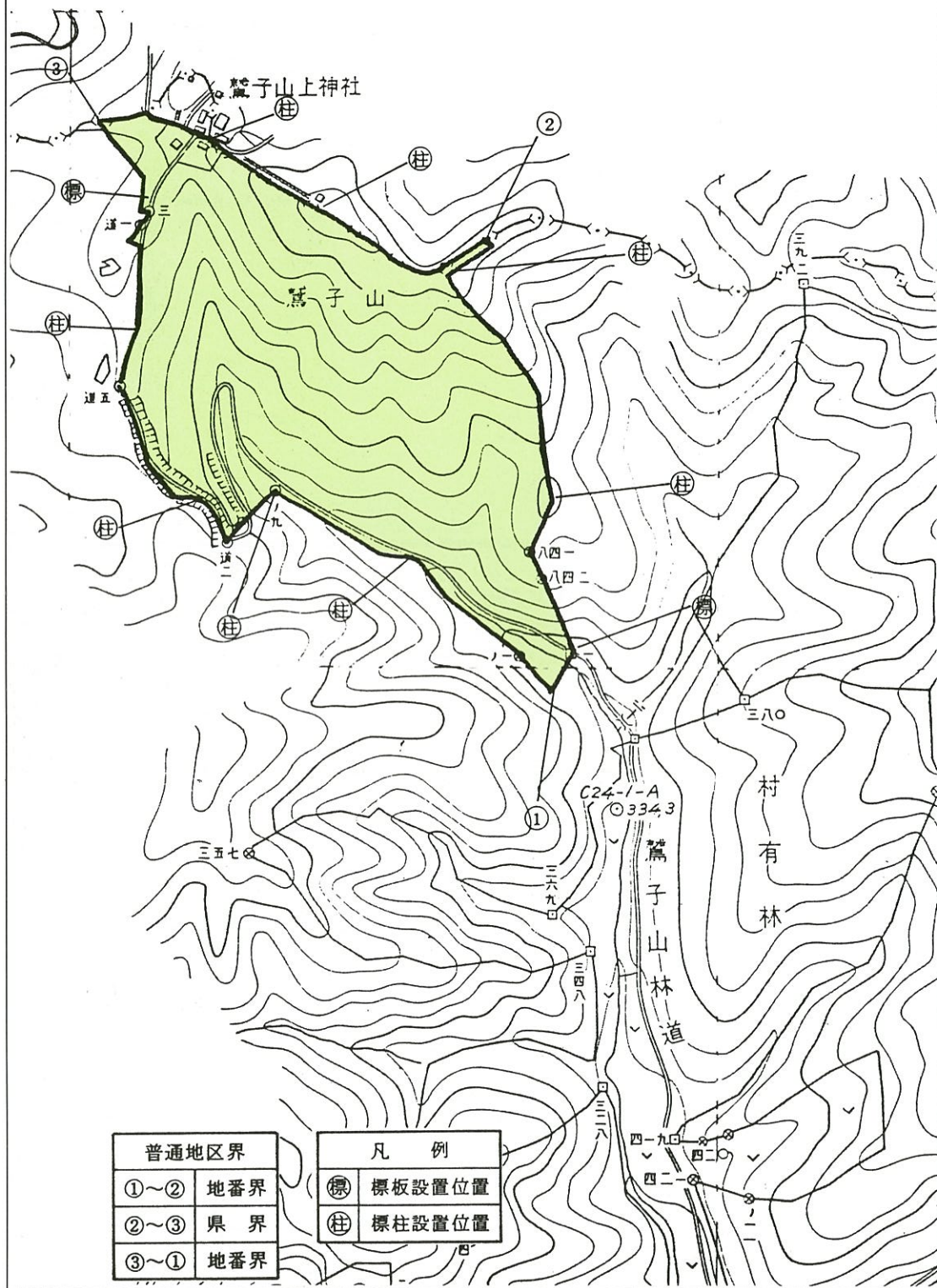
# 鷺子山自然環境保全地域位置図

1  
50000



# 鷲子山自然環境保全地域区域図

$$S = \frac{1}{5000}$$



普通地区界	
①~②	地番界
②~③	県界
③~①	地番界

凡 例	
○	標板設置位置
□	標柱設置位置